

指定管理者実績評価表（令和6年度実績）

中央図書館

施設名	習志野市立東習志野図書館・習志野市立新習志野図書館・習志野市立谷津図書館
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

特記事項	総合評価
・ 情報提供について、ブログでお知らせを掲載するだけでなく、開催した講座の様子やおはなし会で読んだ本のリストを掲載するなど、利用者の興味を引き、次の参加に結び付ける工夫をした。 ・ 館内掲示・サインのデザインや色の統一（谷津）や、図書を利用しやすいよう配置の変更（東習志野、新習志野）など、利用者が利用しやすいよう取り組みをした。 ・ 図書館を利用していない方にも図書館活動が伝わり利用につながるよう、市内の広報掲示版に講座のお知らせを掲示したり、X（旧Twitter）の投稿件数の増に取り組んだ。 ・ 図書館の専門会社として専門性を高める様々な研修を実施、サービス水準の向上に取り組んだ。 ・ 選書内容や児童向けサービス、広報活動について、複数の館のスタッフが情報共有し、連携してサービス向上に取り組んだ。 ・ 電子図書館やデジタルアーカイブなどの事業を継続した他、児童向け講座「セラピードッグといっしょに絵本を読んでみよう」など多くの自主事業を実施し、利用者の好評を得た。 ・ 利用登録人数、貸出人数、貸出数等の施設の利用減少が課題となっている。 全体として、概ね良好である。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅰ 市民の平等な利用の確保	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A	
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A+	要求水準を上回る
Ⅱ 管理を安定して行う物的能力、財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	要求水準
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		4 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項 目	評 価 観 点	個 別 の 評 価	
Ⅲ 当該施設の効用を最大限に発揮させる能力及び経費の縮減	1 サービス向上及び利用者の増加等、施設の効用を最大限に発揮させる取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A+	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	要求水準
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A+	要求水準を上回る
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A+	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	要求水準
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A	
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準を上回る
		2 収支がプラスになっているか。	A	
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A+	
Ⅳ 施設の利用状況	1 施設の利用実績	1 利用登録人数	B	要求水準だが一部課題がある
		2 貸出人数	A	要求水準
		3 貸出数	A	
		4 レファレンス受付件数	A+	要求水準を上回る
Ⅴ 個別事項	1 職員の待遇	1 安定的な職員配置が出来るように職員の待遇が配慮されているか。	A	要求水準
	2 図書館管理者としての適格性	1 習志野市文教住宅都市憲章にふさわしい図書館運営が行われているか。	A	
		2 乳幼児、児童、障がい者、高齢者等多様な利用者の利用に対して配慮されているか。	A	
	3 蔵書管理	1 図書館資料の管理が適正に行われているか。	A+	要求水準を上回る
	4 自主事業	1 施設の特性を理解したサービスが提供されているか。	A	要求水準
		2 施設の設置目的に沿った自主事業が行われているか。	A+	要求水準を上回る

評価段階：A+～C	A+ （要求水準を上回る）の数	9
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A （要求水準と同等）の数	28
	B （要求水準だが一部課題がある）の数	1
	C （要求水準に至らない）の数	0